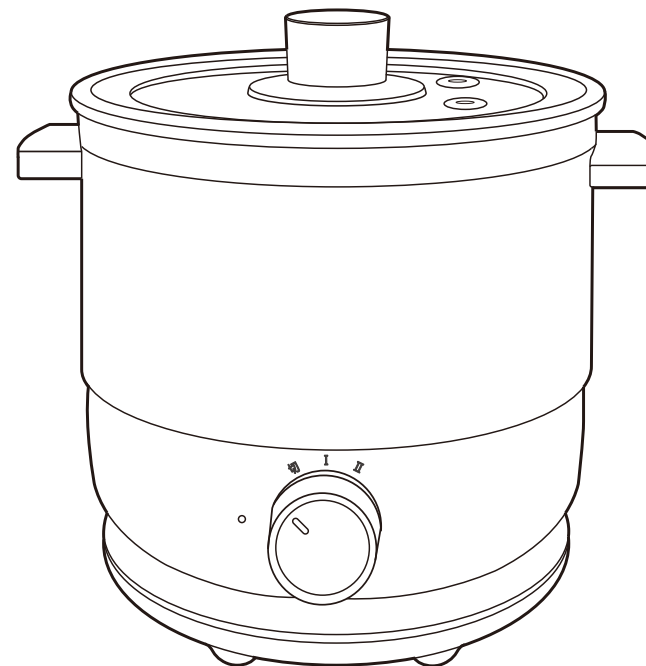


Multi Cooking Pot

多機能調理ポット

取扱説明書



ご使用前に必ずお読みください

この度は本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
安全にご使用していただくために、必ず取扱説明書をよくお読みの上、正しく
ご使用ください。

なお、この取扱説明書には保証書が付いております。

重要な説明書のため、お読みになったあとも大切に保管してください。

[保証書付]

2423/KAPOT


本書の内容については予告なしに変更することがあります。

安全上のご注意

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、ご使用になる方や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」、「注意」に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。


お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

 **警告** 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容

 **注意** 人が損傷を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容

絵表示の例

 左図の記号は、「強制」の行為を示しています。必ず守っていただく内容です。

 左図の記号は、「禁止」の行為を示しています。してはいけない「禁止」内容です。

警告

- 強制**
 - AC100V で使用する
 - 15A 以上のコンセントを単独で使用する
 - ・タコ足配線は、異常発熱、発火の原因になります。
 - ご使用の際は電源プラグをコンセントに確実に差し込む
 - ・ショート、火災、感電の原因になります。
 - 電源コード、電源プラグの破損、損傷がないかを確認する
 - ・ショート、火災、感電の原因になります。
 - 電源プラグに埃がついている場合は、きれいに拭き取る
 - ・ショート、火災、感電の原因になります。
 - 次のような場合は、直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く
 - ・本体が異常に熱くなる。
 - ・発煙、異臭がする。
- ※火災、感電、火傷、ショートの原因になります。

安全上のご注意

警告

- 強制**
 - ご使用の際は、必ず水平な場所で行う
 - 不安定な場所や熱に弱い敷物、特に白色系の上では使用しない
 - ・熱による変形、又は火災の恐れがあります。
 - 分解、修理、改造をしない
 - ・感電、火災、けがのおそれがあります。
 - 電源コードを無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしない
 - ・ショート、火災、感電の原因になります。
 - 電源プラグをコンセントに差し込んだときに、緩みがあるときは使用しない
 - ・ショート、火災、感電の原因になります。
 - 水につけたり、濡れた手で使用しない
 - ・ショート、火災、感電の原因になります。
 - 幼児や子供の手の届く所に保管しない、また子供だけで使用させない
 - ・事故の原因になります。
 - 本製品は、安全に責任を負う人の監視又は指示がない限り、補助を必要とする人（子供を含む）が単独で機器を使用しない
 - ・感電、けがの恐れがあります。
 - 身体の自由が利かない人、幼児又は熱に敏感な人は使用しない
 - 本来の使用目的以外には使用しない
 - ・故障や事故の原因になります。
 - 本体を火のそばに置いたりしない
 - ・事故、破損、火災の原因になります。
 - 使用中、ふきんなどで蒸気穴をふさがない
 - ・ふきこぼれて、やけどをすることがあります。
 - 直火（ガス台等）や電気ヒーター、電磁調理プレートなどの上に載せない
 - ・火災の原因になります。
 - 調理後しばらくは、持ち手とフタつまみ以外の高温部に触れない
 - ・やけどの原因になります。
 - 調理中は蒸気穴に顔や手を近づけない、触れない
 - ・やけどをすることがあります。特に乳幼児には触らせないようにしてください。
 - 本体を傾けたりしない
 - ・内容物がこぼれて、やけどをするおそれがあります。
 - 最大目盛（1.0L）以上の水や具材を入れない
 - ・内容物がこぼれて、やけどをするおそれがあります。
- 禁止**

安全上のご注意

⚠ 注意



禁止

- 空焚き(中身が空の状態加熱)はしない
 - ・故障の原因になります。
- 落としたり、ぶつけたときは本製品に破損や亀裂、変形がないかよく点検し、破損や亀裂、変形がある場合は使用しない
 - ・感電や思わぬ事故につながる恐れがあります。
- 本体の上に座ったり、体重をかけたりしない
 - ・破損の原因になります。
- 踏みつけられるような場所に放置や保管をしない
 - ・破損または滑って事故を招くおそれがあります。
- 鋭利なものや突起物などで本体を傷つけない
 - ・破損の原因になります。
- 高温多湿の場所や直接日光が当たる場所に放置、保管をしない
 - ・高温多湿の場所に置くと、カビが発生する原因となります。
 - ・直射日光の当たる場所に置くと、変色や劣化の原因となります。
- ご使用中はその場を離れない
- 壁や家具の近くで使わない
 - ・蒸気または熱で壁や家具を傷め、壁や家具の変色、変形の原因になります。
- 専用の電源ベース以外は使わない。
また、電源ベースは他の機器に転用しない
 - ・発火、故障の原因になります。
- フタを開けるときの蒸気に触れない
 - ・やけどの原因になります。
- 電源ベース中央の接続部(金属部)にピンを差し込んだり、ゴミを付着させたりしない。
 - ・ショート、感電、故障の原因になります。

⚠ 注意



強制

- ご使用後は必ず電源プラグをコンセントから抜く
 - ・火災、故障の原因になります。
- 電源プラグを抜き差しするときは、必ず電源プラグを持って抜き差しする
 - ・コードを持って抜き差しすると、断線・ショート、感電の恐れがあります。
- 内容物が入った状態で本体を持ち運ぶときは、フタを閉めて持ち手を持つ
 - ・内容物がこぼれて、やけどをするおそれがあります。

安全上のご注意

⚠ 注意



強制

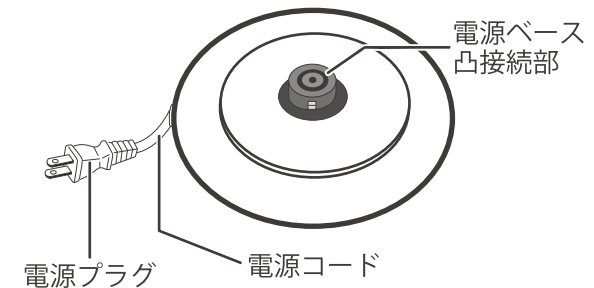
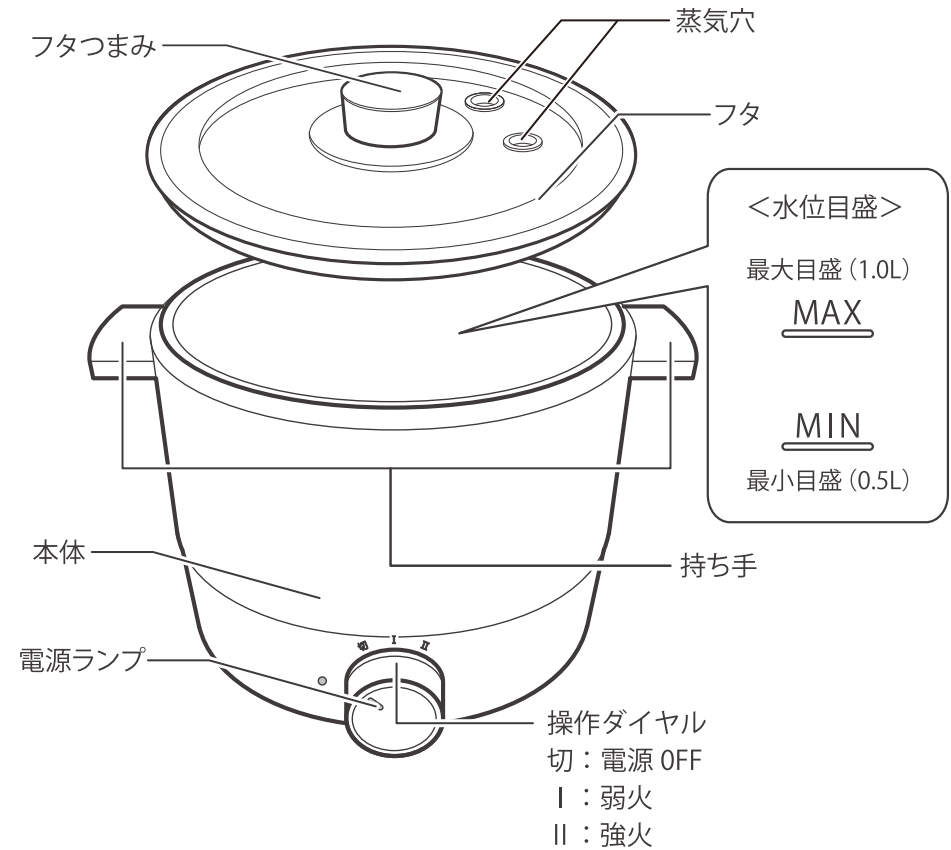
- お手入れは電源プラグをコンセントから抜き、冷めてから行う
 - ・高温部に触れるとやけどの原因になります。
- 本体は電源ベースの中央にしっかりとせる
 - ・内容物がこぼれて、やけどするおそれがあります。
- 電源プラグや電源コードが破損した際は、直ちに使用を中断し、カスタマーセンターにお問い合わせください

製品仕様

品名	多機能調理ポット
品番	2423/KAPOT
サイズ(約)	本体:高さ(H)19×幅(W)22×奥行(D)20cm 内径:高さ(H)9×幅(W)16×奥行(D)16cm
質量(約)	本体:800g 電源ベース:200g
主な材質	本体外側:PP 本体内側:ステンレス(セラミックコーティング) フタ:耐熱強化ガラス
定格電圧/周波数	AC100V 50/60Hz
定格消費電力	600W
容量	1.0L
コードの長さ(約)	75cm
セット内容	本体、フタ、電源ベース、取扱説明書

※商品は改良の為、仕様・外観など予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。

各部の名称



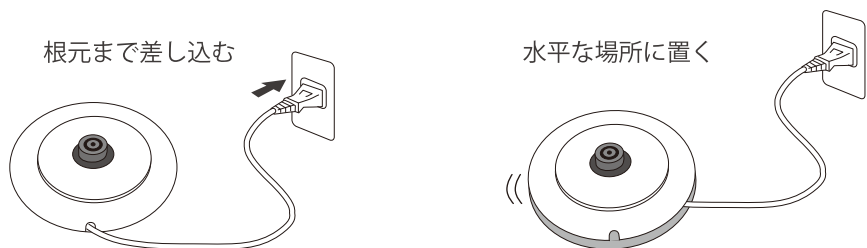
使用方法

■ご使用前に

※初めて使用するときは、事前に本体内部を水、またはぬるま湯でよくすすいでください。

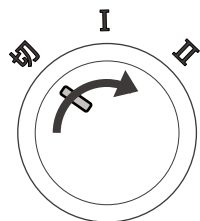
1. 電源を接続する。

電源プラグをコンセントに差し込みます。根元までしっかりと入れてください。
電源ベースは水平な場所に置いてください。

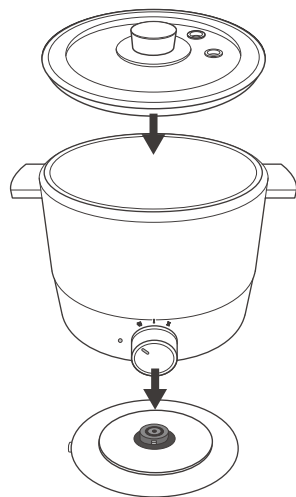


2. 本体を電源ベースにのせ、電源を入れる。

1. 食材を本体に入れます。
2. 本体を電源ベースにのせます。
3. フタを閉めます。
4. 操作ダイヤルを右に回し、加熱を開始します。



操作ダイヤル
切：電源 OFF
I：弱火
II：強火



使用方法

3. 調理完了後は、操作ダイヤルを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜く。

※満水1.0Lのお湯が沸騰するまでの時間は、水量・水温・室温などによって多少異なりますが、おおよそ13分程です。

⚠注意

- 調理後は自動的に電源OFFになりません。
必ず、手で操作ダイヤルを「切」に戻してください。
- 使用中はそばから離れないでください。
- 天ぷらなど、油を大量に使う調理は行わないでください。
- 連続して使用する際は、しばらく冷ましてから行ってください。
- 使用後は早めにお手入れしてください。
放置すると、変色や腐食の原因になります。
- 本体内側の最小目盛(0.5L)かMAX(1.0L)の範囲でお湯を沸かしてください。

お手入れと保管方法

お手入れの前に

※こまめにお手入れをしてください。

※本体の丸洗いはできません。



警告

- お手入れの際には、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
 - ・通電状態でお手入れをすると、感電やけがの原因になります。
- ベンジン・クレンザー・たわしなどを使わないでください。
- 食器洗い乾燥機や、食器乾燥機は使用しないでください。
 - ・動作不働、感電のおそれがあります。
- 本体の丸洗いはできません。本体外側と電源ベースに水をかけないでください。
 - ・本体底面凹接続部、電源ベース凸接続部を濡らさないでください。
 - ・インナーポットを水洗いする際は、濡れないように十分ご注意ください。
- 長時間お使いにならないときは、お手入れ後、十分に自然乾燥させてください。

本体内側の水垢(変色)や白い浮遊物について

- 白い浮遊物（ミネラル分の結晶）
- 乳白色、黒色、虹色などの変色
- 赤さび状のはん点（もらいさび）
- ざらつき

上の例は、水に含まれるミネラル分などの作用によるもので容器自体の変色や腐食ではありません。

衛生上に問題はありますが、定期的にクエン酸洗浄でお手入れしてください。

※ミネラルウォーターやアルカリイオン水を沸かしたときは容器が変色したり、水垢が発生しやすくなります。

本体外側のお手入れ

- よく絞ったふきんで汚れを拭き取ります。

フタのお手入れ

- 水洗いしたあと、水分を完全に拭き取り乾かします。

電源ベースのお手入れ

- よく絞ったふきんで汚れを拭き取ります。

お手入れと保管方法

電源コード・電源プラグのお手入れ

- 乾いた柔らかい布などで汚れを拭き取ります。
- ※シンナー・ベンジン・磨き粉・化学ぞうきんは使用しないでください。

本体内側のお手入れ

- 市販のケトル洗浄剤、またはクエン酸で洗浄をします。
 - その後、水分を完全に拭き取り乾かします。
- ※長く使用していると本体内部に水垢が付着することがあります。

<クエン酸洗浄>

※市販の電気ケトル洗浄剤が便利です。その場合は洗浄剤の取扱い指示に従ってご使用ください。

1. 本体の内側に、水 1.0L と約 15g のクエン酸を入れ、フタをする
2. 本体を電源ベースに乗せ、電源を入れる
3. お湯が沸いたら電源を切る
沸騰後、2～3時間放置する
4. 本体を電源ベースからはずし、お湯を捨てる
5. 本体の内側をよく水ですすぐ
6. クエン酸のにおいを取るために、水 1.0L を入れて再沸騰させる
沸騰が終わったら電源を切り、お湯を捨てる

お願い

- 汚れが落ちにくい場合は、繰り返しクエン酸洗浄を行ってください。
- クエン酸洗浄の湯は飲まないようにしてください。
- クエン酸洗浄後は電源ベースへの通電を止めます。

収納する

- 直接日光を避け、湿気が少ない場所に保管してください。
- ※本体をお手入れしてからポリ袋などに入れ、お買い上げ時の箱に収納します。

廃棄する場合

- 地方自治体の処分方法に従って処理してください。